
私は貴方を忘れない

那音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私は貴方を忘れない

【著者名】

N 1 9 3 3 R

【作者名】

那音

【あらすじ】

愛する貴方にこの言葉を。

(前書き)

どうも。

すとむみずみです。

今日は詩というものに初挑戦です。

初めてなのでおかしな所が盛り沢山です。

それでも読んでいただけるなら。

よろしくお願いいいたします。

私が風邪を拗らせた時も、貴方は優しく看病をしてくれた。

私が泣いていた時も、貴方は優しく慰めてくれた。

私が怒っていた時も、貴方は優しくなだめてくれた。

私が困っていた時も、貴方は優しく手を差し伸べてくれた。

私のすべてのベクトルが貴方へ向かっていて
貴方のすべてのベクトルが私へ向かっていた。

そう思っていた。

今さつきまで。

貴方の優しさはすべて偽りで、
貴方の温もりはすべて計算で、
貴方との記憶はすべて傷痕で、
貴方からの愛はすべてウソで。

大切な人の別れが人を強くするなら、

私は強さんていらない。

貴方が守ってくれるのならば、
弱い私でも構わない。

でも、貴方には重すぎた。
だから、放り捨てた。

重すぎる荷物を整理して、
私は不要になったもの。

自分勝手なのはわかってる。
貴方には迷惑だつてことも。
だけどそれでも言わせてください。

『私は貴方を忘れない』

(後書き)

今作は友人に詩をリクエストされたので書きました。
難しいですが、小説とはまた違った面白さがあるのでないでしょ
うか。

そして、最後に。

これ、詩とカテゴライズできますか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1933r/>

私は貴方を忘れない

2011年10月8日18時35分発行